



がくじ



摂南大学図書館報

No. 76

2004.4

学而時習之、不亦説好乎。(「論語」より)

- 学^まびて時にこれを習^よう、亦^また説^よばしからずや -

* 題字は王羲之の書による

新入生の諸君へ

工学部機械工学科 教授

いま い ひろ ゆき
今 井 弘 之

摂南大学図書館報は「学而」と呼ばれているが、これは孔子の『論語』巻頭の「子曰」に続く2文字をとって名づけられたものである。この命名の由来については、「学而」創刊号で初代館長の布目潮凧先生が述べておられる。図書館のホームページで公開されているので、ぜひご一読いただきたい。

孔子は思想家としてだけでなく、教育者としても偉大な存在である。論語(述而第七)に「子曰、不憤不啓、不悱不発、…」という章がある。「不憤不啓、不悱不発」は「啓発」の出展として知られており、その現代語訳は、坂田新著「論語紀行」によれば「学生が発奮して学ぶ気になっていなければ、師は導かない。学生がいま一步で明晰に言いきれるところまで達しなければ、師は啓発しない」となっている。つまり、学生の方に受け入れ態勢ができていなければ何を教えても無駄であるということである。さらに敷衍すれば、学生がある程度の知識なり考えを持っており、それから予測できる範囲のものでないと受け入れられないということもできる。

したがって、授業に先立ち十分に予習し、先生の一言で「啓」かつ「発」される状態にあることが望ましい。司馬遼太郎の著書に、幕末に活躍した大村益次郎の伝記をもとにした「花神」という小説がある。彼が江戸で塾を開いたとき、講義が理解できないという学生に対して「下調べをして、七分どおりの物を頭に入れてから聴けばよく分かる」と言っている。

これは少し甘いというべきであろう。孔子先生なら99%とおっしゃるかもしれない。

また、私の体験であるが、どうしても分からない箇所があり、参考書をいろいろ渉獵し、何冊目かでやっと理解できるということを度々経験した。その時には、その本の説明が適切であったと感じたものである。しかし、上の「不悱不発」に照らし合わせれば、他の参考書で問題点に至るまでを繰り返し読み、受け入れ態勢が出来上がったときにその本に出会ったと考えるほうが尤もらしい。そうであるならば、同じ本でも繰り返し読めば、いつかは受け入れ態勢が整い、問題点を乗り越えられるということになる。すなわち、「分からないところがあれば繰り返し読みなさい」という教訓を得る。

諸君はいつも情報の受信側にいるわけではない。発信者になった場合を考えてみよう。この場合には、受信側の受け入れ態勢を常に念頭におく必要がある。すなわち、諸君が文章によって何かを伝えたいとき、その内容が受信側の知識や理解の状態から予測可能かどうかを意識して書くことが大事である。このように努めれば、受信側を道に迷わせることが少なくなるであろう。

このように、わずか8文字からさまざまな学習への心構えを導くことができる。まさに、情報が凝縮されている。この辺りが論語の奥深いところである。ぜひとも、「学而」の由来を訪ね、「論語」に親しんでいただきたい。(前図書館長)

CONTENTS

新入生の諸君へ (今井弘之)	1
教員から新入生へ図書館のお得な利用法 ...	2・3・4
卒業生から新入生へのアドバイス ...	4・5・6

DVD・ビデオの紹介	6
図書館で読める新聞・軽雑誌の紹介	7
INFORMATION	8



教員から新入生へ「図書館のお得な利用法」

妻に学ぶ

図書館ケチケチ利用術



工学部都市環境システム工学科 助教授 熊谷 樹一郎

幼い頃、私は両親に「本を読め」と口うるさく言われていた。ついにはクリスマスプレゼントが何の前触れもなく「字だけの本」に変わってしまうほどだった。そんな嫌な思いをしたこともあって、私は本をじっくりと読むことを無意識に避けていた。

大学生になると、一丁前に彼女ができた。あるとき、その彼女から椎名誠の「岳物語」という本を紹介された。彼女の手前、やむなく読んでみるとおもしろい。それからむさぼるように椎名誠ばかり読んだ。特に「胃に歯がある」という作者の食べ物・飲み物に関する描写は痛快で、ついついこちらも何か口にしたくなる。「ひるめしのもんだい」にあった「望郷シーナスパゲティ」は、かつおぶしとマヨネーズ、しょう油だけあればできるので、試しに作ってみたらうまかった。その後、このスパゲティはものぐさな私の腹をたびたび満たしてくれることになる。

そんなこんなで、椎名誠の本は16冊になった。狭い我が家では場所をとり、「図書館で借りて読めば良かったのに」と旧彼女（現妻）に文句を言われる毎日である。そんな彼女は、図書館で借りて読んでみて、手元に欲しいと思った本だけ買うらしい。買った本がつまらなかったり使えなかったりすると腹が立つけど、借りた本なら返しておしまい。こんないい加減な利用法もあっていいかもしれない。

コンビニ感覚で図書館に行きましょう



国際言語文化学部 助教授 王 東明

現代社会では、人々は日々忙しく暮らしています。この現代人の「超」忙しい生活パターンに合わせたものがコンビニの普及です。コンビニは年中無休で24時間営業という特性を持ち、非常に便利で寄りやすい場所でもありますから、経済不況の中にもかかわらず、消費者の広い支持を得ていると思います。

ところで、大学の図書館に対して、新入生諸君はどのようなイメージを持っているでしょうか。図書館は知識や情報のデパートと呼んでもいいですが、決して堅苦しく行きづらい場所ではありません。そこは開放された空間であり、勉強の合間のちょっとした息抜きの場所でもあります。そして、便利で寄りやすいという意味から、もはや図書館はコンビニ的な存在だと私は考えます。

摂大の図書館にはたくさんの入門書や専門書が揃っており、また教養関連の書籍や新聞・雑誌、劇映画などのビデオ・DVD、さらに娯楽のアイテムなども充実しています。授業の合間に、図書館に行けば、恐らく自分に必要な栄養素を見つけることができるでしょう。

大学の4年間は、人生の目標を定め、自分を発見する時期でもあります。そこで図書館をうまく活用して、落ち着いた環境の中で、知識を吸収し、先人たちと対面していけば、きっと自分の人生に影響を与えるものが見つけれられるでしょう。自分の夢を実現するためには、まずコンビニ感覚で図書館に立ち寄ってみたらいかがでしょうか。

図書館に行かない大学生ってイケてます？



経営情報学部経営情報学科 助教授 久保 貞也

家に帰った時、「大学へ行ってきた」と言うより「図書館へ行ってきた」という方が周りの反応がいいのではないのでしょうか。「授業だけ出るのが効率的だ」という学生生活を送っていると実は

損をしています。いい意味で得をするように図書館を活用しましょう。

ある若い経営者は大学卒の利点を「調べる方法を知っていることだ」と言っています。授業で得た知識だけでなく、自分で答えを見つけ出す能力を大学で身に付けることが大事です。

授業で分からないことや興味をひくことが出てきたら図書館へ行き、そのことが書かれていると思われる本を何冊か（できれば10冊以上）探してみましょう。複数の本で調べてみると、多くの先生からいろいろな方法で教えてもらっている感じを受け、理解が進むようになるはず（自分だけの家庭教師がそこにいます）。いくつもの本を行ったり来たりすると、自分にとって分かりやすい表現や楽しませてくれる著者に出会い、調べることがより楽しくなります。また、調べた事柄が含まれている分野全体のイメージも湧くようになり、本を探す勘も鋭くなってきます。こうした能力は大学の図書館で身に付けられるのです（しかもタダで）。

たくさんの本をつまみ読みできるのは大学の図書館ならではの贅沢です。図書館での楽しみを知っている大学と知らない大学生、どちらがイケているか是非一度考えてみてください。

大学で損をする人、得をする人 超低次元的図書館利用のすすめ



法学部 助教授 木村 秀一

一昨年より大学入学辞退者の前納金返還請求訴訟が次々起こされ、消費者契約法施行後のケースについては授業料返還を命ずる判断が定着した感がある。授業を受けないのだから、授業料は返還すべきというところであろうか。しかし入学後はいくら授業に出なくとも、授業料の返還はないから、勘違いしないように。これは損をするだけである。では授業に出まくったら得をするかということ、授業料の元が取れるだけだから、損得ゼロである。それでは、どうすれば大学で得をすることができるだろうか。図書館を徹底的に利用することだ。

いうまでもなく、あらゆる分野の恐るべき量

の書物・雑誌が所蔵されている。小説類をどんどん読んでゆくだけでも、タダで楽しい時間をすごせる。昨年度の芥川賞は、才色兼備とまではとてもいれないが、二人のうち若き女性が受けた。それもタダで読める。読書が苦手なら、朗読テープ（CD）もある。そこから読書の面白みを知るのもよい。それもだめなら、映画・音楽のビデオ・DVD・CDもある。過去の名作もそろっているし、「たそがれ清兵衛」もタダでみられる。英会話テープ・CDで英会話スクールに行かなくても英語力のアップができる。洋画DVDを字幕なしでみるのもよい。双方向的学習ができるCD-ROM方式もある。語学以外でも、経営学等の独習用のビデオがある。新聞・判例等のデータベースが充実しているので、興味ある問題について容易に膨大な量のデータを集められる。未所蔵の書物・DVD等の購入希望を出せば、たいていは購入してくれる。

図書館を利用し尽くせば、試算では4年間で軽く100万円以上は得をすることになる。

だが、このような超低次元的な利用の仕方であっても、君は卒業時には幅広い知識を備え、人間と世界をよく理解したうえで、明確な人生目標をもって自己の適性にあった職業選択を終えているであろう。そして、まさにそれこそが君が得ることのできる最大の得なのである。さあ、君は得をする人・損をする人、どちらを選びますか？

図書館のすすめ



薬学部 講師 小西 元美

新入生の皆さん、入学おめでとうございます。これからの4年間に有意義に過ごすために、図書館に縁のなかった人も、まず足を運び、本学のシステムをいかに効率良く利用できるかを探ってみましょう。

多くは、レポート作成や試験勉強、卒業研究の文献検索等に利用することと思いますが、日頃から気楽に訪れ文庫本等を流し読みし、興味を惹く作品があれば端末等を使用して関連する蔵書を検索し熟読してみましょう。読みたい本が図書館に

なければ、希望図書購入制度を利用して買ってもらうこともできます。息抜きに視聴覚室でDVD等を鑑賞する、新聞を見に立ち寄るなどの利用法もあります。

視野の広い教養を身に付け、判断力に富む持続的な思考力を身に付けるには、積極的に努力していろいろなジャンルの本を多読する習慣をつけるしかないと思います。時には自分を見つめ直す孤独な時間も必要です。そして、人生観に影響を与える、苦しい時にも力を与えてくれる1冊に巡り合っていたきたい。

感受性が強く、時間を気にせず読書に没頭でき

る時は、今しかありません。

図書館は、知識・良識の宝庫です。自分なりの活用法を工夫し、独創性ある豊かな個性を磨かれることを希望します。



新入生のみなさんへ！

卒業生からのアドバイス

それぞれの空間に



工学部建築学科 2003年度卒 積水ハウス㈱

やま おか てつ や
山 岡 徹 矢

私にとって図書館は、新しい知識を得て、未知を知にする場所であったと思います。大学に入り、建築学科に進んだ私ですが、専門的な事はまだまだわからないことが多いままでした。

そのため、授業で設計製図に取り組む時は毎回図面のコンセプトやデザインについて頭を悩ませていました。

そんな時私は、いつもとりあえず図書館の視聴覚室に足を運ぶようにしていました。実は以外と知られていないのですが、視聴覚室の奥には学術雑誌室があり、多くの専門雑誌がおかれています。私はそこで色々な建築雑誌をヒントに図面に取り組みました。それ以外にも図書館には、授業の空き時間の息抜きや、課題の資料集めなど、今思えば数多く足を運びました。今述べたのはあくまで私の図書館利用法です。もちろん人それぞれ利用法は違い、その目的もまちまちでしょう。しかし、こんな便利な施設を利用しない人はもったいない、私はそう思います。

まずは、なんとなく足を運んでみてください。行かないことには何も始まりません。そして、色々

な知識に触れてみてください。きっと、皆さんが興味を持つものが見つかると思います。その興味を基に得た知識は、必ず将来に繋がることと思います。

まずは行動から。皆さん一人一人に似合った図書館利用法を見つけ、多くの知識を身につけていって下さい。

「自分の時間」を 価値あるものに



国際言語文化学部 2003年度卒 旭食品㈱

いち の みや み な こ
一 ノ 宮 美 奈 子

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。これから始まる大学生活に、期待と不安でいっぱいのことだと思います。ここで過ごされる4年間は、おそらく皆さんにとって最後の学生生活になるでしょう。だからこそ、有意義で充実したものにしてほしいと思います。

私にとって大学生活というのは、今までで一番「自分の時間」が持てた時期だったと思います。「自分の時間」をどれだけ有効に使うかで、その人自身の価値は変わってきます。皆さんがその時間をどのように使うか、思い描いていることはたくさんあるでしょう。私はその中に、図書館を活

用することを、ひとつお勧めしたいと思います。摂南大学の図書館は書籍も多く、種類も豊富です。授業の空き時間など、ぜひ足を運んでみてください。なぜなら、本との出会いはその人の財産となるからです。1冊の本から学ぶこと、刺激を受けることはたくさんあります。私も空き時間に図書館に行き、様々な本を手にとって読んでいました。また私の場合は、卒業研究の資料収集に何度か文献の複写依頼をしました。そのとき、図書館の方々には迅速に対応していただきました。

皆さんが通う大学の図書館です。大いに活用し、この4年間を価値あるものにしてください。

多くの知識を得て 自分の将来を見つけよう



経営情報学部経営情報学科 2003年度卒 国税庁

みずもと かつや
水本 勝也

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。憧れの大学生となり、これから始まる4年間の大学生活に期待と不安で一杯のことだと思います。学生生活を充実したものにするには、何事にも積極的に取り組んでいくことが大事だと思います。私の場合、クラブ活動やバイトでいろんな面で多くの事を経験し刺激を受けてきましたが、もっと知識を増やして自分の幅や可能性を広げたいと思うようになりました。

そこで私はその手段の一つとして、図書館を利用してきました。定期試験の勉強と情報交換や論文作成の資料収集、そして公務員試験と幾つもの試練を無事乗り切れたのは、図書館をうまく活用してきたおかげだと思います。閲覧室は夜遅くまで開放されており、定期試験の期間中は休日も利用できるのです。朝から晩までいたこともありました。また、図書館には学術関係の書籍だけでなく、文庫本や雑誌、新聞、映画のビデオ等、娯楽のアイテムも充実しており、勉強の合間の息抜きを楽しむ事も可能です。

現在の大学生は、興味のあることや自分のやりたいことがないという人がとても多い。それは、少ない知識で判断しているからだだと思います。少ない知識では、周りにあることが見え、何をし

ているのさえ分からなくなってくるものです。やはり、多くの知識を持っておけば、幾分、状況が変わり、考え方もより深いものになります。一度、何らかの本を手にとってみてください。そこから将来の自分が見つかるかもしれません。

大学の図書館にはそのようなチャンスが多くあります。与えられたチャンスは、この世の中には、多くありません。確実に自分のものにできるようにしてください。そうすればより一層有意義な学生生活を過ごせることと思います。

最後になりましたが、新入生の皆さんが素晴らしい大学生活を送れる事を願っています。

図書館へ行こう



法学部 2003年度卒 大阪府警

はま だ こうじ
濱田 幸爾

図書館は堅苦しいところではありません。もちろん難しい学術書もたくさんあります。それはそれで、いずれ論文作成の時の救世主になるとは思いますが...。図書館には私達がふだん読むような雑誌や、最近のビデオ、DVDまで揃っています。

私は入学当初、主にビデオ鑑賞ばかりで、授業の間の暇つぶしに利用していました。

また3年生になってから、公務員を目指すようになり、試験勉強のために朝からこもってがんばったこともありました。図書館は、夏は涼しく冬は暖かく、そして静かで、集中して勉強する場所には最適です。このように使い方しだいで、図書館は自分の都合の良いものに変化してくれると思います。一度、足を運んでみてはいかがでしょうか。

これからの4年間は、皆さんにとって人生の中の「自由期間」ではないかと思われます。授業にでて単位さえ取れば何の強制もなく、自由な生活をおくることができます。やりたいことはなんだってすることができます。しかし、今年卒業する私からの忠告として、この「自由期間」は4年といえども一瞬で終わります。気がつけば、卒業です。この短い期間を有意義に過ごすために、様々なことに挑戦し多くのことを経験して充実した毎日を送ってってください。その手段として、図書館

は多くの刺激を与えてくれると思います。

「読書のススメ」



薬学部薬学科 2003年度卒 武田薬品工業(株)

なか やま のり こ
中山 紀子

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。これから始まる大学生活で、何か新しいことにチャレンジしたいと考えておられることと思います。そこで、私がひとつお勧めしたいのが、読書の時間を持つことです。私はこの4年間で、大学の図書館を利用して色々なジャンルの本に触れました。時間を費やすから・・・と敬遠されがちですが、本を読むことで自分の内面をじっくりと育てることができるので、自由に時間を使うことができる大

学生ならではの特権で、ぜひ読書の時間を作ってほしいと思います。

大学の図書館には、専門書だけでなく雑誌や新聞、最新の小説などが揃っています。

また、読んでみたい！けれど図書館にないし、買うのは...という時には、「希望図書購入制度」を利用して読みたい本を気軽に読むこともできます。一冊の本との出会いが、大切な友人と出会った、と感じることもあると思うのです。おおいに利用してお気に入りの一冊を探してみてください。

大学の図書館は本を借りる場所だけではなく、広い机でレポート作成や、個人デスクで試験勉強ができるほか、くつろいで雑誌を見たりビデオ鑑賞ができるスペースもあります。利用方法は人それぞれですが、うまく活用すれば大学生活がより充実したものになると思います。

時間を有効に使って、多くの出会いや経験を重ね、楽しい大学生活を過ごしてください。



本館4階の視聴覚室にある資料を一部紹介します。

明日があるさ	三国志 アニメーション	冬のソナタ
アメリカ	さよならクロ	ブラックダイヤモンド
阿羅漢	少林サッカー	ボーンアイデンティティ
アイ・アム・サム	少林寺・少林寺2	MATRIXシリーズ
IN THE WILD	シカゴ	マイノリティリポート
(野生への旅)	戦場のピアニスト	めぐりあう時間たち
K-1 9	ターミネーター3	模倣犯
くまのプーさん完全保存版	たそがれ清兵衛	黄泉がえり
GO	24	猟奇的她彼女
ターミネーター3	トータルフィアーズ	ロードオブザリング
X-MAN	ハリーポッターシリーズ	ローマの休日 記念版
8マイル	ハルク	ディズニーアニメ
風の谷のナウシカ	パイレーツオブカリビアン	
ギャングオブニューヨーク	ピンポン	放送大学ビデオ
凶気の桜	HERO	
建築家 安藤忠雄	プロジェクトXシリーズ	



図書館で読める新聞・軽雑誌の紹介

本館 分館 本館・分館

新聞	日経Click	世界
朝日新聞	PC USER	論座
毎日新聞	日経PC21	文藝春秋
読売新聞	日経Win PC	文藝
産経新聞	DOS/V MAGAZINE	すばる
日本経済新聞	LINUX MAGAZINE	BE-PAL
日刊工業新聞	INTERNET MAGAZINE	オレンジページ
FUJI SANKEI BUSINESS i	LOGIN	SMART
日経産業新聞	月刊ニューポリシー	MEN'S NONNO
デイリー・スポーツ	Volo	Savvy
スポーツニッポン	日経サイエンス	J.J
日刊スポーツ	NEWTON	n o n n o
中国新聞	ナショナルジオグラフィック日本版	スポーツグラフィック NUMBER
電気新聞	税経セミナー	週刊ベースボール
環境新聞	新聞ダイジェスト	週刊サッカーマガジン
科学新聞	ARTICLE	月刊 スキージャーナル
薬局新聞	BIG TOMORROW	アサヒカメラ
薬事日報	ENGLISH JOURNAL	スクリーン
教育学術新聞	NHKラジオ「ビジネス英会話」	旅
日本教育新聞	NHKテレビ「エンジョイ・スピーキング」	山と溪谷
留学生新聞	留学ジャーナル	オートバイ
図書新聞	週刊ダイヤモンド	MOTOR MAGAZINE
出版ダイジェスト	週刊 東洋経済	CAR GRAPHIC
週刊 読書人	プレジデント	ギターブック
週刊 ST	経済セミナー	音楽の友
Asian wallstreet journal	月刊 消費者情報	就職ジャーナル
Herald Tribune Asahi	切り抜き速報 教育版	調剤と情報
The Japan times	思想	大学と学生
The Newyork times	日本語ジャーナル	栄養と料理
The Nikkei weekly	会社四季報 CD-ROM	暮らしの手帖
東亜日報	JTB時刻表	Lマガジン
人民日報	関西版 ザ・テレビジョン	毎日ライフ
中国時報	関西ウォーカー	PharmaNext
中文導報	週刊 金曜日	POPEYE
関西華文時報	サンデー毎日	ルポラン
La jordana	週刊朝日	ロードショウ
軽雑誌	NEWS WEEK 日本版	Skier
合格情報処理	AERA	趣味の園芸
ASCII	芸術新潮	旅の手帖
I/O	中央公論	

2003年度休日開館入館者数

実施日	場所	本館	分館
7月13日(日)		121	411
7月20日(日)		259	552
7月21日(月・祝)		767	748
合計		1147	1711
前年度比		115%	80%
1月11日(日)		41	216
1月18日(日)			500
1月25日(日)		239	502
合計		280	1218
前年度比		173%	96%

開館時間 10:30~16:50

2003年度の休日開館入館者数です。

今年度は、前期試験・後期試験共に、本館の利用者が増加しています。

図書館では、2004年度も引き続き休日開館を行う予定です。

INFORMATION



2004年度ライブラリートゥアー

今年も図書館恒例の「新入生対象ライブラリートゥアー」を実施します。毎回30分程度、図書館員が館内を案内し、所蔵検索機の操作方法を指導するものです。大学では図書館を利用せずに学習を進めることは困難です。ちょっとした資料探しのコツや施設の押さえどころなどもお話ししながら進行していきますので、ツアー解散時には飛び込み参加のギャラリー(?)が増えていたなんて事も少なくありません。ご入学の早い時点で図書館の達人になっておくことがこれからの4年間に差をつけます。ぜひ参加下さい!!

ツアー日時 4月 7日(水) 16:30
 4月 8日(木) 9日(金) 10:00 12:20 15:30
 4月12日(月)~15日(木) 10:00 12:20 15:30

集合場所 7号館5階 参考図書室入口

編集後記



新入生のみなさん入学おめでとうございます。

現在は“present” 過去は“history” 未来は“mystery” と言います。

プレゼントされた今の時間を大切に、大学生活を送ってください。

(Y. K)

摂南大学図書館報「学而」 76 2004.4

編集・発行 摂南大学図書館 本館 〒572-8508 大阪府寝屋川市池田中町17-8 TEL.(072)839-9111

枚方分館 〒573-0101 大阪府枚方市長尾峠町45-1 TEL.(072)866-3102

印刷 サツキ印刷株式会社 〒572-0024 大阪府寝屋川市石津南町8-2 TEL.(072)828-0171